

第13回福山駅前広場協議会の意見を踏まえ、現状と先行整備案（①案、②-A案、②-B案）についての比較検討の結果に関する意見を聴取することを目的として開催した。

●出席者

- ・学識経験者 佐々木伸子
- ・専門家 清水義次、西村浩
- ・事業者 広島県タクシー協会東部支部、広島県バス協会
- ・行政 福山市バス交通利用促進協議会、西日本旅客鉄道株式会社
福山市企画財政局

1. 計画についての主な意見

（1）2つの先行整備案（たたき台）

- ・路線バスの配置について、①案は運用面から難しく、②案が良い。
- ・②-B案が有効。伏見町北側への一般車送迎場の配置は、北口の混雑緩和のために必要。

（2）観光バスと送迎バスの運用ルール

- ・今後、事業所などの送迎バスが増えることも考えられる。将来的に観光バスと送迎バスを分ける運用についても検討が必要。

（3）伏見町北側の道路の扱い

- ・基本計画では、一般車送迎場を配置したとしても、北口の混雑緩和対策とともに、将来像として歩行者優先の道路をめざすことを記載しておくことが重要。
- ・普段は、一般車送迎として使うが、イベント等でウォーカブルな使い方もできるようにしておけると良い。将来的には段階的に縮めていく柔軟な設計が必要。

2. その他の意見

- ・現計画で進めていくとしても、将来的には北口広場全体の整備も検討していくとよい。
- ・北口の混雑解消のためには、将来的に一般車送迎場の規模拡大についても検討する必要がある。平面施設による拡張または立体施設による拡張などの対策ができるとよい。

3. まとめ（確認事項）

- ・先行整備案（たたき台）は、①案よりも②案が望ましく、大型バスと中小型バスの送迎場が北口広場で一体的に運用できる②-B案がよいという意見が多かった。
- ・比較結果については修正する箇所はなく、協議会に提示する。
- ・伏見町北側の道路の扱いについては、基本計画で方向性を示すとともに、将来的な活用に向けた道路のあり方を記載し、引き続き検討していく。
- ・基本計画には「観光バスと送迎バスの運用ルール」「北口の混雑緩和」については、検討していくことを記載する。